

健やか子ども育成条例の制定を



6月定例市議会が行われています。日本共産党市議団は任務分担して一般質問を行いました。今回は6月6日の初日に行われた戸沢ひろゆき議員の質問内容と市側の回答を報道します。

健やか子ども育成条例の制定の提案

問い合わせ

子どもを取り巻く社会環境の変化に対応した新しい時代の子ども育成について、その理念、大人の責務、基本的な施策等を明らかにすることにより、あきる野市のコミュニティが一体となって子どもの育成に主体的にかかわり、次代を担う全ての子どもの幸せと健やかな成長を図るために、過去に子ども権利条例の提唱をしたが、今日の情勢に対応した条例の制定を求めました。

登壇で、あきる野市民生児童委員だより3号を示して、子どもの育成を中心家庭、学校、地域、各種団体機関が一体となって活動するため、横の連帯が非常に大事で、条例に基き同一テーブルについて、子ども育成を全体で審議し方向を決めていくことが大切だと補足発言をしました。

市側の回答の要旨

現在市では、子どもの育成支援について、次世代育成支援行動計画に基き、事業を展開している。地域保健福祉計画の一環として、市民、市、民間事業者などの市における子どもに関連する分野の総合的な指針として計画したもので、この計画に示された基本理念は、「子どもたちがのびのび育ち、楽しく子育てできる環境を目指して」とあります。ご提案の、健やか子ども育成条例の制定につきましては、今後の研究課題とさせていただきたい。と答弁しました。



「子どもは社会の宝、健やかに育て子どもたち」
小学校運動会の開会式

日本共産党 <http://www.jcp-akiruno.com/> あきる野市議団ニュース

No. 60 ● 2006. 6. 18 ● Tel・Fax 558-1134
日本共産党あきる野市議団は以上の見解を発表しました。

中央図書館の市民利用について



建設すすむ中央図書館
市のホームページの写真より

問い合わせ

工事が始まり、いよいよ中央図書館が完成する。市民に愛され親しまれ、大いに知的向上と、優れた情報を得られる市民の殿堂になるよう期待している。新しい時代にふさわしい特徴について、特に老人ホームなどへの「宅配」など出向する図書館運営、会館前に周辺の道路に横断歩道、国道411号線の交差点に信号の設置を行い、子どもたちが安心して図書館に通えるよう早急に交通安全対策が必要だと主張し伺いました。

市側の回答の要旨

市民利用の多い夏季の平成19年8月の開館を予定している。団塊の世代といわれる方々が定年を向え、「生きがいづくり」が課題となる。いつでもだれでもが学び、情報が活用できる公共施設として17万冊の図書と雑誌、新聞などの情報拠点となる。1階、2階に市民が気軽に集うフリースペースや300席の座席を設けます。市民の朗読ボランティアの活動も続け、福祉施設との連携も図ります。インターネットにつなげるパソコンも用意します。子育て児童書の提供も子育て支援ととらえ取り組みます。指摘の交通安全対策については関係機関に相談していきたい。と答弁しました。



国道411号線の交差点に信号設置を。
右奥が図書館、手前左がアオキ（元ノジマ）



図書館周辺に横断歩道の設置を求める。
とうきゅうの北東の交差点

野辺ミユキ組の跡地の開発計画について

問い合わせ 話では400棟の住宅団地が出来ると聞いています。大規模なので問題が発生する。住宅に住む人達のアクセス道路、緑地公園とトイレの設置、上下水道や防火貯水池などのライフライン、現在の秋多中通学区域をどうするのか、河川の汚濁、秋川の管理道路、周辺の水田との関係、現在あるリサイクル施設と環境問題、住宅からの車のアクセス対策、東秋留駅利用の道路問題などあり「住民説明会」の開催が必要です。市との協議はどうなっているのか伺いました。

市側の回答の要旨

野辺字川原地内約4.9haの工場跡地については、市に平成16年ごろから数多くの企業が、主に住宅系の開発を行う目的で都市計画法の制限等の調査や相談に訪れています。都市計画法施行令第25条第4項の規定により、開発区域内の主要な道路は、開発区域外の幅員9m以上の既存道路、また主として住宅の建築の用に供する目的で行う開発行為にあっては、幅員6.5m以上の既存道路に接することが必要となっています。現在、当該地が接続している道路は、睦橋通りへ向う市道1297号線です。認定幅が1.82~6.0mとなっており、許可基準を満たすには拡幅整備が必要であり、住宅開発等の具体的な協議は受けていません。市としましては、宅地開発指導要綱による事業者との事前協議、意見調整など都市計画法第32号に定める公共施設管理者として協定書を締結することになります。議員の指摘の項目をふくめて慎重に協議してまいります。と答弁しました。



野辺地域の秋川河川敷に接する（右）の広大な工場跡地

戸沢弘征議員が30年表彰

昭和50年、第一回あきる野市施行の市議会議員選挙で当選、連続8回当選。今回、全国市議会議長会総会において、30年勤続表彰を受賞しました。戸沢議員は「党派をこえてご支援していただきてきた賜物、これからも元気に市民の期待にこたえ頑張りたい」と一般質問の冒頭に、市民のみなさんに感謝の挨拶をしました。

瀬戸岡426番地先に信号設置を

問い合わせ

瀬戸岡426番地先の都市計画346号線との交差点については、開通前に信号を設置するという話がされている。当時は地域住民の生活基盤から、もう少し西側に設置しないとこまるという陳情もだされ、実現したが、この交差する市道も供用開始されており、急いで信号を設置されたい。と伺いました。

市側の回答の要旨

都市計画道路が開通する平成13年度から福生警察に要望を行ってあります。平成16年度には、市道が全面開通したことから、要望書を提出し警視庁交通規制課の担当に現地を確認していただきました。警視庁として予算が厳しいことから遅れていますが、早期の設置に向け警察署に働きかけてまいります。と答弁しました



都市計画道路346号線と市道の交差点

今後の平井川の改修について

問い合わせ

平井川観音橋手前で改修工事がとまっている。次は、菅瀬橋下流だと聞いているが、管理道路を含めて工事計画と進捗状況を伺いました。

市側の回答の要旨

平井川の改修工事は、平成13年度から東京都におきまして、観音橋から代田橋下流までの間で、流下能力の不足する箇所について実施してきておりますが、この間で下流能力が不足しております箇所は、観音橋下流から尾崎橋下流までの間と菅瀬橋上流から鯉川合流部下流までとなっています。ご質問の菅瀬橋下流につきまして、東京都西多摩事務所では、平成18年度におきまして平井川左岸の市道IIの23号線を北側に付け替える工事及び多摩川合流部の落差解消工事を行い、また、平成19年度には付け替えた市道部分に護岸を設置するとしています。と答弁しました



改修される菅瀬橋から小宮久保橋へ

無料法律相談

6月27日（火）
午後2時からルピア3階
弁護士の都合もあり市議団に予約をしてください。